

(事例67) 43歳男性、技術職、くも膜下出血後のための残業禁止、出張禁止

類型	症候	疾患
1	2. くも膜下出血後(症状なし)	2. くも膜下出血

きっかけ	<input type="checkbox"/> 健康診断の有所見	<input checked="" type="checkbox"/> その他の機会
1. 対象者のプロフィール 1) 年齢、既往歴 43歳、男性 2) 業種、作業内容 医薬品研究開発部門、技術系		
2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など くも膜下出血		
3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など 残業禁止、出張禁止		
4. 事例の詳細(背景、経緯、特に考慮した事情など) くも膜下出血のためおよそ5ヶ月間休養ののち、職場復帰。 以前はある程度の頻度で国内出張が必要な業務だったが、復帰後しばらくの間は出張を控えるよう意見を提出した。		
5. 就業制限・配慮の主な目的(複数回答可) ① 業務が当該労働者の健康、安全、疾病経過、予後に影響を与える可能性があったため		
6. 就業制限を実施するにあたって注意した事、阻害要因、問題点などあれば教えて下さい 以前の出張先から評価装置を搬送してもらうことができ、出張しなくても業務が滞らずに行うことができた。		